

1930年建築、姫路市の歴史的洋館でレストラン 通年オープン

地元食材のフレンチなどを食べ放題で提供、ランチ限定

たっぷり2時間、大人3000円、未就学児無料

格式高い優雅な雰囲気の中、カジュアルに食事を

結婚式場・レストラン運営の(株)ノバレーゼ(本社:東京都中央区、東証スタンダード上場)は、姫路市の景観重要建築物である「姫路モリス 旧通信省姫路電信局別館」で、レストランを開業します。開業日は2023年10月2日(月)です。

「姫路モリス」は1930年建築の歴史的洋館で、2009年から当社が結婚式場として運営しています。

旧帝国ホテルの影響を受けた外壁と、直線を強調した幾何学的な外観デザインが特徴で、モダンイズム建築が重厚感を醸しています。中に入ると、赤い絨毯と一部をアーチ状にした白い天井、品のあるシャンデリアが、優美でノスタルジックな印象を与えます。

今回、披露宴会場をレストランとして一般開放し、ランチ限定(11:00-15:00)で通年営業します。

食事は、約10品の料理と6種のサンドイッチ、5種のパン、13種のサラダバー、8種のスイーツ、7種のドリンクを、ビュッフェ形式の食べ飲み放題で提供します。

税込料金は大人3000円、子供2000円、未就学児は無料です。



地元食材を使った料理提供、フレンチを軸に多彩なメニュー

食べ放題の料理は、フランス料理を提供する婚礼施設としてフレンチ(パテドカンパーニュ、コンフィ、キッシュ)を軸にしなが、イタリアン(ペンネ)やスパニッシュ(生ハムのピンチョス)、地中海料理(エスカベッシュ)、サンドイッチ、グラタンの軽食まで、ビュッフェらしく幅広く揃えます。

食材は、兵庫県産の淡路島玉ねぎや小松菜、レンコンといった地元野菜を活用しながら、季節ごとにメニューを入れ替えます。

パンは、敷地内の専用工房で職人が焼き上げます。クロワッサンやバケット、塩パンなど、出来たて、アツアツの自家製パンを、お楽しみいただけます。

スイーツはすべてパティシエの手作りです。ショートケーキやタルト、クレープは季節のフルーツを使い、そのほかシュークリーム、メイプルチーズケーキ、ショコラテリーヌ、オリジナルプリン、姫路城を型取ったアーモンドバターのクッキーなど計8種を用意します。パティシエによる日替わりの演出もお楽しみ

いただけます。例えば、お客様の目の前で、カスタード、ショコラ、抹茶などのクリームをお好みに応じて、クッキーシューの中に流し込むなどし、気分を盛り上げます。

料理もパンもスイーツも、老若男女の方にお楽しみいただける内容です。

ドリンクも充実しています。ノンアルコールから紅茶、コーヒー、果実のジュースなどソフトドリンク 7 種を飲み放題で提供します。

料金(税込)は高校生以上が 3000 円、中学生以下が 2000 円、未就学児は無料です。14 時から 14 時半の入店は、高校生以上が 2000 円、中学生以下が 1500 円と、よりリーズナブルにします。

営業時間は 11 時から 15 時までです。

名建築の外観、内観はそのまま、格式高い優美な建物

「姫路モリス」は、1930 年(昭和 5 年)1 月に姫路郵便局電話分室として建設された建物で、外観と内観を極力残しながら、ブライダル施設として当社が再生しています。

設計は、全国に多くの名建築を残した気鋭、旧通信省管轄課の上浪朗(うえなみあきら、1897～1975)です。関東大震災の教訓を踏まえ、“震災復興型局舎”として強固に建設されており、戦禍を免れました。

外観は、帝国ホテルを設計した米国の建築家フランク・ロイド・ライトの影響を受けたベージュ色のスクラッチタイル張りの外壁や、直線を強調した幾何学的なデザインが特徴的です。

建物は 2 階建て(一部 3・4 階)約 2,330 m²で、L 字型のシンプルな構造です。

世界遺産、姫路城の中濠の石垣近くに位置し、太平洋戦争の戦禍に見舞われた軍都の歴史と共に歩んだ建築物として、今なお優美で格式高い独特の存在感を残し、市民に愛されています。

戦禍の中で、空襲を回避しようと、建物の外壁は全面にわたり防空迷彩塗装の黒いコールタールが塗布されたこともありましたが、終戦を迎え、せめてもの化粧直しをするため、上からリシンが吹き付けられ、一時、真っ白い建物に変わったこともありましたが、現在の姿は 1985 年からで、電電公社民営化による NTT スタートと同時にコールタールもリシンも除去され、当初の建物が復活しています。

姫路市は、戦災をうけた市街地に残る貴重な戦前の建築物で、端正な水平垂直直線で構成されるモダニズムデザインは、姫路城に近い官庁街に歴史的な厚みを与えているとし、2002 年に姫路市都市景観重要建築物に指定しました。





その後、2007年3月までは、104の番号案内業務に使われていましたが、通信サービスの多様化と高度化もあり、その業務を終え、2009年11月に結婚式場「姫路モリス」として生まれ変わり、今に至ります。

建物は、(株)NTT西日本アセットプランニングから建造物を生かす形で借り受け、外観や内観は極力残しながら、厚生施設があった北棟をオープンキッチンの披露宴会場やBarラウンジに、電話交換室があった西棟をサロンに改装しています。

開業からしばらくは通年でレストラン営業もしていました。昨今は、クリスマスなど期間限定でディナーを提供するなどし、好評を博していました。今回新たに人員体制を整え、レストラン営業を再開します。

「姫路モリス」ランチ限定レストラン営業 概要

施設名	姫路モリス 旧通信省姫路電信局	開業日	2023年10月2日(月)
住所	兵庫県姫路市総社本町115	交通	JR「姫路」駅から徒歩12分
営業時間	11:00~15:00 (ラストオーダー14:30)		
料金	大人(高校生以上)3000円、子供(小学・中学生)2000円、未就学児無料 ※14:00~14:30の入店は、大人2000円、子供1500円 ※120分制		
定休日	水曜日、結婚式・宴会予約のある日		
HP	restaurant.novarese.jp/hjm/	問合せ	079-286-5858

会社概要

社名	株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc. ※東証スタンダード市場上場		
住所	〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKOビル 4F		
電話	03-5524-1122(代)	創立	2000年11月1日
資本金	100百万円 (2022年12月末)	代表者	代表取締役社長 荻野洋基
従業員数	2332人(連結)、1917人(単体) ※いずれもパート・アルバイト含む(2022年12月末)		
事業内容	ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)レストラン特化型事業		
	国内店舗数		海外
婚礼施設運営	ドレスショップ	レストラン	フォトウェディングとスパ運営事業
34施設	23店舗	7店舗	1店舗

本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp